

【理学療法士の仕事は？】



理学療法士（Physical Therapist または Physio Therapist（略称 PT））は、医療資格の一つです。

『「理学療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、「理学療法」を行うことを業とする者をいう。「理学療法」とは、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう。（理学療法士及び作業療法士法昭和40年6月29日法律第137号第2条）』

理学療法士は、医師の指示のもと、運動療法・温熱療法・電気療法などの物理療法を用いて、病気やケガによって障害をもった方の日常生活を送るうえでの基本的動作の改善を図る治療科学を行っていく専門家が「理学療法士」です。

最近では、治療後に何らかの障害が残ったときの基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、福祉用具の選定や住宅改修や環境調整、生活習慣病等の予防も理学療法の対象とされています。また、スポーツ医療の分野にもその活躍の場が広がるなど、注目を集めています。

理学療法士は、技術のみならず「相手と心を通わせ、信頼を得ることのできる人格」もまた、優れた理学療法士の必須テーマとされています。

理学療法士として働く現場には、一般病院、リハビリテーションセンター、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、身体障害者療護施設、保健センターなどがあります。

「資格取得方法」

①か②のいずれかの要件を満たし、理学療法士国家試験に合格し、理学療法士として登録することにより、理学療法士と名乗ることができます。

- ① 理学療法士養成校（4年制大学、3年制短期大学、専門学校）卒業生
- ② 外国の理学療法に関する学校若しくは養成施設を卒業し、又は外国で理学療法士の免許に相当する免許を得た者で、厚生労働大臣が認めたもの
（平成19年3月現在の理学療法士登録者数は、58,647人）

※理学療法士、作業療法士

「リハビリ目標」

- ・理学療法士は基本的動作の治療・訓練
- ・作業療法士は応用的動作の治療・訓練

—基本・応用—

- ①基本動作（移動動作）

寝起きする、座る、立つ、歩く、階段昇降など

②応用動作

日常生活の食べる、排泄動作、入浴など（ADLと言います）

復職をゴールとして設定

仕事に合わせた訓練